

個別施設計画

策定年月 R2.1

施設名	和気閑谷高等学校			所在地	和気郡和気町尺所15		
敷地面積	29,956.00 m ²			棟数	49 棟 (計画記載対象 14 棟)		
延床面積	11,006.59 m ²				※対象は200m ² 以上の建物(車庫、倉庫等は500m ² 以上) ※公舎・寮は全て対象		
設置目的	高等学校教育のため						
【想定される自然災害】							
予想震度 5強 津波 ー 浸水 ー							
建築規制	非線引き都市計画区域、第一種住居地域 建ぺい率60%、容積率200%						
エネルギー使用量 (2018年度)	電気	ガス	水道	燃料(灯油)			
	244,858 kWh	97 m ³	1,684 m ³	1,494 0			
管理上の特記事項	敷地内未利用地 なし 敷地内貸付地 なし 和気町指定緊急避難場所						

1 施設内建物の概況

名称	理科・図書教室棟(34棟)16	家庭教室棟(36棟)10	本館(41棟)1-1
築年(西暦)	1961年	1962年	1966年
構造	鉄筋コンクリート造 2階	鉄筋コンクリート造 2階	鉄筋コンクリート造 3階
建築面積	458.36 m ²	183.60 m ²	214.45 m ²
延床面積	796.56 m ²	367.20 m ²	642.23 m ²
主要な用途(室名等)	図書室 生物教室 物理教室	調理教室 被服教室	校長室 職員室 視聴覚教室
主要な設備(屋外を含む)	空調設備 給排水設備		消防設備(自動火災報知設備) 消火設備 空調設備 給排水設備
利用状況	高	高	高
耐震性 ※1	有	有	有
躯体(コンクリート)の健全性 ※耐震診断済のみ	圧縮強度 ※2	適	適
	中性化 ※3	適	適
長期使用の適否	建物傾斜 ※4	適	適
	地盤沈下 ※5	適	適
劣化状況(劣化が進んでいるもの)	該当なし	該当なし	該当なし

※1 耐震性有:耐震診断の結果Is値≥0.6(震度6強~7程度で倒壊する危険性が低い)又はS56.6以降に建築の建物 (S56.6より前に建築の車庫・倉庫は耐震診断対象外)

※2 圧縮強度:13.5N/mm²未満は不適 ※3 中性化:築後65年時点でコンクリートの中性化が30mm以上の見込みは不適 ※4 傾斜が有る場合は不適 ※5 地盤沈下が有る場合は不適

名称	本館(42棟)1-2	普通教室棟(43棟)3-1	普通教室棟(45棟)3-2
築年(西暦)	1967年	1967年	1968年
構造	鉄筋コンクリート造 3階	鉄筋コンクリート造 3階	鉄筋コンクリート造 3階
建築面積	238.39 m ²	163.80 m ²	288.29 m ²
延床面積	638.68 m ²	491.40 m ²	864.86 m ²
主要な用途 (室名等)	事務室 会議室	保健室 進路指導室 普通教室	普通教室
主要な設備 (屋外を含む)	消防設備(自動火災報知設備) 消火設備 空調設備 給排水設備		
利用状況	高	高	高
耐震性 ※1	有	有	有
躯体(コンクリート) の健全性 ※耐震診断済のみ	圧縮強度 ※2	適	適
	中性化 ※3	適	適
長期使用の 適否	建物傾斜 ※4	適	適
	地盤沈下 ※5	適	適
劣化状況 (劣化が進んでいるもの)	該当なし	該当なし	該当なし

※1 耐震性有:耐震診断の結果Is値 ≥ 0.6 (震度6強~7程度で倒壊する危険性が低い)又はS56.6以降に建築の建物 (S56.6より前に建築の車庫・倉庫は耐震診断対象外)

※2 圧縮強度:13.5N/mm²未満は不適 ※3 中性化:築後65年時点でコンクリートの中性化が30mm以上の見込みは不適 ※4 傾斜が有る場合は不適 ※5 地盤沈下が有る場合は不適

名称	体育館(44棟)22-1	特別教室棟(64棟)27	記念会館(69棟)35
築年(西暦)	1967年	1973年	1973年
構造	鉄骨造 1階	鉄筋コンクリート造 3階	鉄筋コンクリート造 3階
建築面積	1,148.02 m ²	187.82 m ²	231.00 m ²
延床面積	1,209.73 m ²	563.47 m ²	693.00 m ²
主要な用途 (室名等)	体育館	化学教室 美術教室 書道教室	同窓会館
主要な設備 (屋外を含む)	消防設備(自動火災報知設備) 消火設備 空調設備	給排水設備	
利用状況	高	高	高
耐震性 ※1	有	有	有
躯体(コンクリート) の健全性 ※耐震診断済のみ	圧縮強度 ※2	適	適
	中性化 ※3	不適	適
長期使用の 適否	建物傾斜 ※4	適	適
	地盤沈下 ※5	適	適
劣化状況 (劣化が進んでいるもの)	該当なし	該当なし	該当なし

※1 耐震性有:耐震診断の結果Is値 ≥ 0.6 (震度6強~7程度で倒壊する危険性が低い)又はS56.6以降に建築の建物 (S56.6より前に建築の車庫・倉庫は耐震診断対象外)

※2 圧縮強度:13.5N/mm²未満は不適 ※3 中性化:築後65年時点でコンクリートの中性化が30mm以上の見込みは不適 ※4 傾斜が有る場合は不適 ※5 地盤沈下が有る場合は不適

名称	商業教室棟(67棟)29-1	普通教室・産振諸室棟(80棟)29-2	特別教室棟(90棟)36
築年(西暦)	1974年	1980年	1989年
構造	鉄筋コンクリート造 3階	鉄筋コンクリート造 4階	鉄筋コンクリート造 4階
建築面積	150.12 m ²	241.72 m ²	163.80 m ²
延床面積	450.36 m ²	1,117.70 m ²	655.38 m ²
主要な用途 (室名等)	商品実験室 パソコン実習室 商業実践室	普通教室 電算機室 商業デザイン室	LL教室 社会合併教室 音楽教室
主要な設備 (屋外を含む)		空調設備 給排水設備 消火設備	空調設備 給排水設備 消火設備
利用状況	高	高	高
耐震性 ※1	有	有	有
躯体(コンクリート) の健全性 ※耐震診断済のみ	圧縮強度 ※2	適	適
	中性化 ※3	適	適
長期使用の 適否	建物傾斜 ※4	適	適
	地盤沈下 ※5	適	適
劣化状況 (劣化が進んでいるもの)	該当なし	該当なし	該当なし

※1 耐震性有:耐震診断の結果Is値 ≥ 0.6 (震度6強~7程度で倒壊する危険性が低い)又はS56.6以降に建築の建物 (S56.6より前に建築の車庫・倉庫は耐震診断対象外)

※2 圧縮強度:13.5N/mm²未満は不適 ※3 中性化:築後65年時点でコンクリートの中性化が30mm以上の見込みは不適 ※4 傾斜が有る場合は不適 ※5 地盤沈下が有る場合は不適

名称	格技場(91棟)37	特別教室棟(96棟)39	
築年(西暦)	1993年	2006年	
構造	鉄骨造 1階	鉄骨造 1階	
建築面積	382.70 m ²	238.00 m ²	
延床面積	430.33 m ²	238.00 m ²	
主要な用途 (室名等)	武道場	福祉実習室	
主要な設備 (屋外を含む)			
利用状況	高	高	
耐震性 ※1	有	有	
躯体(コンクリート)の健全性 ※耐震診断済のみ	圧縮強度 ※2		
	中性化 ※3		
長期使用の 適否	建物傾斜 ※4	適	適
	地盤沈下 ※5	適	適
劣化状況 (劣化が進んでいるもの)	該当なし	該当なし	

※1 耐震性有:耐震診断の結果Is値 ≥ 0.6 (震度6強~7程度で倒壊する危険性が低い)又はS56.6以降に建築の建物 (S56.6より前に建築の車庫・倉庫は耐震診断対象外)

※2 圧縮強度:13.5N/mm²未満は不適 ※3 中性化:築後65年時点でコンクリートの中性化が30mm以上の見込みは不適 ※4 傾斜が有る場合は不適 ※5 地盤沈下が有る場合は不適

2. 対応方針

(1) 施設全体の方針

老朽化の進んだ建物について修繕、改修を行い、使用を継続する。

(2) 建物ごとの方針

区分	対応方針
理科・図書教室棟(34棟)16	長寿命化改修を行う。
家庭教室棟(36棟)10	予防保全を図る。
本館(41棟)1-1	予防保全を図る。
本館(42棟)1-2	予防保全を図る。
普通教室棟(43棟)3-1	予防保全を図る。
普通教室棟(45棟)3-2	予防保全を図る。
体育館(44棟)22-1	予防保全を図る。
特別教室棟(64棟)27	予防保全を図る。
記念会館(69棟)35	予防保全を図る。
商業教室棟(67棟)29-1	予防保全を図る。
普通教室・産振諸室棟(80棟)29-2	設備等の定期更新を行う。
特別教室棟(90棟)36	長寿命化改修を行う。
格技場(91棟)37	予防保全を図る。
特別教室棟(96棟)39	予防保全を図る。

格技場(91棟) 37	予防保全			<div style="border: 1px solid black; padding: 2px;"> 予防保全を図る。 </div>
特別教室棟(96棟) 39	予防保全			<div style="border: 1px solid black; padding: 2px;"> 予防保全を図る。 </div>

4. 概算費用

総額 2億円(長寿命化改修)